



イノベーションを情報で支援する会社。

**axetimes** & Partners

報道関係者各位  
プレスリリース

2026年5月14日  
アックスタイムズ株式会社

## エネルギー貯蔵 NEXT14 技術の技術戦略・市場評価を調査

液化空気・圧縮空気・超電導・重力・フライホイール・岩石蓄熱など各種方式のエネルギー貯蔵を調査

情報ナレッジサービスを展開する市場調査会社のアックスタイムズ株式会社（所在地：大阪府大阪市中央区、代表取締役：橋本規宏）は、次世代発電・エネルギー貯蔵 50 技術を横断分析した調査報告書「次世代発電&エネルギー貯蔵のシーズ技術・市場総覧 2026年版 [No.2 比較・分析編]」を、2026年4月15日にリリースしたことをお知らせします。本プレスリリースでは、エネルギー貯蔵 14 技術の調査結果を抜粋紹介します。

■ No.1 技術・市場編：50 技術の個別評価 | ■ No.2 比較・分析編：50 技術の横断分析+Excel データセット  
本調査結果は、レポート販売されるほか、脱炭素・サーキュラーエコノミーを推進している企業・経済団体・自治体向けに、調査結果の内容を含む講演・セミナーとして商品展開されます。  
なお、「解説ウェビナー」の特別開催を後日予定しており、本調査報告書を事前にご購入いただいた方を対象にご招待します。詳しくは本プレスリリースの後方の案内をご覧ください。



### 【調査報告書から得られる内容】

- ・次世代 50 技術の横断分析（市場・技術・政策・需要・供給など）
- ・次世代 50 技術の潜在市場規模・市場形成時期予測
- ・独自の視点で加工分析可能な Excel データセット付

### 【こうした方にオススメ】

- ・重電メーカー・弱電メーカー・材料メーカー・化学メーカー・鉄鋼メーカー
- ・電力会社・ガス会社・石油会社・エンジニアリング会社・プラント会社・商社
- ・新規・研究テーマを探す新規事業部・事業企画部・研究開発部／研究者の方々

※ 本プレスリリースの後方では、調査報告書の一部を無料で確認していただける「購入検討サポート」の案内を掲載しております。

## ■ 調査背景・目的

世界的なエネルギー需要の増加と脱炭素化に向けた環境負荷の少ない電源への要請、加えて、普及が進む再生可能エネルギーの間欠性を補う調整力の確保が急務となる中で、従来になかった多様な新電源開発が進展しています。また、センサーネットワークの普及を背景とした、未利用エネルギーを活用した利便性の高いエネルギーハーベスティング電源へのニーズも高まっています。

本調査 [No.2 比較・分析編] では、[No.1 技術・市場編] で整理した次世代エネルギー領域の 50 技術を横断分析するデータブックを作成しました。各技術を比較・分析することで、全体像の把握と技術の位置づけの理解が得られる仕様となっています。

■ No.1 技術・市場編：50 技術の個別評価

■ No.2 比較・分析編：50 技術の横断分析 + Excel データセット（本調査）

本調査は、新規事業開発界限に向けて次世代 50 技術の横断分析を可視化する仕様のデータブックを提供することで、有望技術や事業機会の探索を情報面から支援することを目的として実施しました。

## ■ 調査結果（抜粋）

### 【潜在市場規模※ | エネルギー貯蔵 NEXT14 技術】

エネルギー貯蔵   デバイス	エネルギー貯蔵   設備・プラント	※注記
次世代リチウムイオン電池 15 兆円	レドックスフロー電池 1.5 兆円	・ 世界（グローバル）を対象。
ナトリウムイオン電池 1 兆円	液化空気エネルギー貯蔵 2 兆円	・ 現時点での市場規模ではございません。
全固体電池 10 兆円	断熱型圧縮空気エネルギー貯蔵 5,000 億円	・ 当該技術が適合可能な潜在市場規模（時期は将来の最大普及時点を想定）。
金属負極電池 1 兆円	超電導磁気エネルギー貯蔵 1,500 億円	・ 潜在市場規模は試算であり、将来の実現
金属空気電池 3,000 億円	重力エネルギー貯蔵 6,000 億円	や潜在市場が全て顕在化することを意味
	フライホイール蓄エネ 4,000 億円	するものではありません。
	岩石蓄熱 3,000 億円	・ 技術名内の「次世代」に含まれる内容は
	海洋インバースタム 1 兆円	No.1 目次の正式表記をご参照ください。
	高密度流体揚水発電 2,000 億円	尚、ここでは抜粋掲載のため、詳細は商
		品の調査報告書でのご案内となります。
		・ アクスタイムズ推定（2026 年 4 月調査時点）

本プレスリリースでは、調査対象 50 技術の内、エネルギー貯蔵 14 技術の潜在市場規模を紹介します（発電システム 36 技術は前日のプレスリリースで掲載）。

エネルギー貯蔵技術については、デバイス 5 技術と設備・プラント 9 技術を調査対象としました。

世界的なエネルギー需要の拡大、電化の推進、再生可能エネルギーの普及に伴い、エネルギーを貯蔵する技術のニーズも高まっており、本調査対象の半数以上の技術が 2020 年代後半から 2030 年代前半にかけて市場形成されると予測されます。

デバイス関連では 1 兆円以上の潜在市場規模と推定される技術が目立つなかで、特に次世代リチウムイオン電池と全固体電池は、EV・車載用電池向けを主要用途として 10 兆円以上の潜在市場規模が期待される技術であり、注目度が高い領域となります。

設備・プラント関連では、長期エネルギー貯蔵システム（LDES: Long Duration Energy Storage）の一種として液化空気エネルギー貯蔵（LAES）や重力エネルギー貯蔵といった大規模なエネルギー貯蔵技術の開発が進んでいます。LDES のなかでも、圧縮空気エネルギー貯蔵のように従来の再加熱型ではなく断熱型（A-CAES）として次世代の方式を開発する動きもみられます。また、海中に設置したダム空間を利用する海洋インバースダムといった新規性の高い技術についても 2040 年代以降の市場形成に向けた研究が進められています。

## ■ 調査項目

### 横断分析

01. 技術・市場データ総覧（MML・TRL・PML・DML・SML・市場形成時期予測・潜在市場規模・参入企業数）[50 技術]
  - A. 再生可能エネルギー | デバイス
  - B. 再生可能エネルギー | 設備・プラント
  - C. 燃料電池 | デバイス
  - D. 低炭素発電・原子力発電・核融合発電 | 設備・プラント
  - E. エネルギーハーベスティング | デバイス
  - F. エネルギー貯蔵 | デバイス
  - G. エネルギー貯蔵 | 設備・プラント
02. 市場スコア推移・技術スコア推移（2025 年 | 2030 年予測 | 2035 年予測 | 2040 年予測）[50 技術]
  - A. 再生可能エネルギー | デバイス
  - B. 再生可能エネルギー | 設備・プラント
  - C. 燃料電池 | デバイス
  - D. 低炭素発電・原子力発電・核融合発電 | 設備・プラント
  - E. エネルギーハーベスティング | デバイス
  - F. エネルギー貯蔵 | デバイス
  - G. エネルギー貯蔵 | 設備・プラント
03. 指標比較（2025 年）[50 技術]
  - a. 市場スコア | MML ベース
  - b. 技術スコア | TRL ベース
  - c. 政策スコア | PML ベース
  - d. 需要スコア | DML ベース
  - e. 供給スコア | SML ベース
04. 潜在市場規模×市場形成時期予測 [50 技術]
05. 潜在市場規模の比較 [50 技術]
06. 市場形成時期予測の比較 [50 技術]
07. 技術概要・構成技術 [50 技術]
08. 技術課題 [50 技術]
09. 実績用途／想定用途 [50 技術]
10. 参入企業特徴 [50 技術]

## Excel データセット（別添）※No.1・No.2 に掲載の一部データを整理

01. 各種データ総覧 [50 技術] : 技術名 | 技術分類 | 指標スコア 5 種 | 市場形成時期予測 | 潜在市場規模 | 参入企業数 | 実績用途 / 想定用途
02. 市場スコア推移・技術スコア推移 [50 技術] : 2025 年 | 2030 年予測 | 2035 年予測 | 2040 年予測
03. 指標比較（2025 年） [50 技術] : 市場スコア | 技術スコア | 政策スコア | 需要スコア | 供給スコア
04. 潜在市場規模 & 市場形成時期予測 [50 技術]
05. 事例リスティング [496 事例] : カテゴリ | 技術名 | 組織名 | 組織区分 | 本社所在 | 設立年 | ステージ | 技術概要 | 技術キーワード | 備考

### 【調査内容のご参考】

調査報告書の内容の参考としまして、アックスタイムズが運営する情報サイト「axetimes Biz」(<https://axetimesbiz.com>)において、調査報告書のポイントなどを解説する調査担当者へのインタビュー記事を公開予定です。



### ■ 調査概要（調査概要の詳細は商品サイトをご確認ください）

- 調査目的 | シーズ技術の探索と市場環境の評価の見える化による新規事業開発の情報支援
- 調査対象 | 50 技術（エネルギー発電：36 技術、エネルギー貯蔵：14 技術）
- 選定対象 ① 新規技術  
② 再注目既存技術（現時点で商用利用が限定的だが成長期待の高い技術）
- 為替前提 | 潜在市場規模の算出では、150 円/USD（2025 年平均）を前提とした。  
なお、2026 年以降の為替変動および物価変動は考慮せず。
- 指標スコア | 5 指標を指標ごとに 1～9 で評価（市場・技術・政策・需要・供給）
- 調査範囲 | 世界、日本
- 調査方法 | 業界ヒアリングおよび公開情報調査をベースに専門市場調査員が整理・分析
- 調査期間 | 2025 年 11 月～2026 年 4 月
- 調査実施 | アックスタイムズ株式会社

### ■ 商品概要

- 調査報告書名 : 次世代発電&エネルギー貯蔵のシーズ技術・市場総覧 2026 年版 [No.2 比較・分析編]
- 発行日 : 2026 年 4 月 15 日
- 体裁 : PDF\_Slide16:9\_53pages+Excel データセット
- 価格 : 事業所ライセンス版 PDF 税込 99,000 円（税抜 90,000 円）  
企業ライセンス版 PDF 税込 148,500 円（税抜 135,000 円）  
グループライセンス版 PDF 税込 247,500 円（税抜 225,000 円）
- 商品サイト : <https://axetimes.com/report/research-about-nextenergy-seed-and-market-global-2-2026/>

### 【AI 環境での情報活用について】

本調査報告書を AI 環境で活用いただく際のガイドラインにつきましては、各商品サイト内の「AI 環境におけるご利用について」をご参照ください。対象となる環境・設定・ライセンス種類などをご案内しています。

### 【購入検討サポート】（無料）

本調査報告書のご購入をご検討いただくにあたり、コンサルタントとのオンライン面談にて内容をご確認いただけます。ご希望の場合、下記フォームよりお問い合わせください。

サポートに相談する：<https://forms.cloud.microsoft/r/5sy9AVhmxn>（Microsoft Forms）

### ■次世代発電&エネルギー貯蔵シリーズ 2026 特別価格のご案内

次世代発電&エネルギー貯蔵を調査テーマとしたシリーズのセット購入として、特別価格をご用意しております。特別価格は商品サイトをご覧ください（シリーズレポートは下記の通り）。

- ・次世代発電&エネルギー貯蔵のシーズ技術・市場総覧 2026 年版 [No.1 技術・市場編]

商品サイト：<https://axetimes.com/report/research-about-nextenergy-seed-and-market-global-1-2026/>

- ・次世代発電&エネルギー貯蔵のシーズ技術・市場総覧 2026 年版 [No.2 比較・分析編]

商品サイト：<https://axetimes.com/report/research-about-nextenergy-seed-and-market-global-2-2026/>

### ■解説ウェビナーのご案内「次世代電源技術・市場の調査結果 2026」

本調査報告書をご購入の企業・団体を対象に、2026年7月27日に解説ウェビナーを実施する予定です。参加対象となる企業・団体へは、事前に詳細のご案内をお送りします。

#### 【解説ウェビナー概要】（予定）

テーマ：次世代電源技術・市場の調査結果 2026

内容：調査報告書の解説（使い方、重要ポイント）、質疑応答

開催日時：2026年7月27日（月曜日）15:00～16:30を予定 ※配信は録画される予定

開催方法：オンライン配信（Teamsを予定）

登壇者：アックスタイムズ株式会社 脱炭素・新時代エネルギー担当（調査報告書の制作担当者）

参加料：無料（ただし、調査報告書をご購入の企業・団体の方々のみ） ※録画の解説動画は有料販売を予定

テキスト：ご購入になった調査報告書

参加対象：2026年7月24日（金曜日）までに本調査報告書をご購入の企業・団体

（事業所ライセンス版をご購入の事業所内でご関連の方々：最大5名）

（企業ライセンス版をご購入の企業・団体内でご関連の方々：最大10名）

（グループライセンス版をご購入の企業・団体内でご関連の方々：最大15名）

### ■カスタム調査相談のご案内（市場調査代行）

アックスタイムズでは、調査結果の知見を生かし、事業企画・研究開発を情報面から支援する「市場調査代行」のご相談も可能です。ご希望の場合、下記フォームよりお問い合わせください。

カスタム調査のご相談方法など：<https://axetimes.com/note/about-axetimes-research/>

専門家に相談する：<https://forms.cloud.microsoft/r/E9PjPWNJ5m>（Microsoft Forms）

### ■企業・経済団体・自治体の皆さま

脱炭素・資源循環を推進している企業・経済団体・自治体向けに、調査結果の内容を含む講演・セミナーのご相談にも応じています。日本が世界をリードできるように、情報支援します。

講演のご相談：<https://axetimes.com/event-team/>

## ■メディアの皆さま

調査で培った専門的な知見を、実務や社会動向と結びつけてわかりやすく伝えることを重視し、取材対応・専門家コメントの提供などを承っております。

取材・寄稿のご相談：<https://axetimes.com/press-team/>

## ■会社概要

商号：アックスタイムズ株式会社

代表者：代表取締役 橋本 規宏

所在地：〒541-0053

大阪府大阪市中央区本町4丁目2番12号 野村不動産御堂筋本町ビル8階

設立：2021年4月26日

事業内容：調査レポート販売、市場調査代行、伴走型情報支援サービス、  
市場調査研修、情報ナレッジサービス、Webメディア

公式WEB：<https://axetimes.com>

### 【本件に関するお問い合わせ先】

アックスタイムズ株式会社

TEL：050-3555-6200

お問い合わせフォーム：<https://axetimes.com/contact-form/>